# いっぱい

### このまちで "描く



### 「市外の人からも"行ってみたい"と思われる 図書館があるって、素敵だと思いませんか?」

「毎日がとても楽しいです。」就任から一か月、笑顔で そう話してくれるのは、4月から中央図書館の館長を務 める津田惠子さんです。津田館長は元北九州市役所職員。 一般行政職を経て平成11年~18年までの7年間,学生 の頃からの夢であった図書館勤務を経験されました。そ の後、家庭の事情から一度は職を退かれますが、「もう一 度、図書館で働きたい」との思いは諦めきれません。『図 書館が大好き。』仕事を離れて一年, "もう一度"の想い はだんだん強くなるばかり・・・。そんな時、偶然知った のが、本市の図書館長民間公募。再び夢を志す決心を固 めるまでに、それほど時間はかかりませんでした。

図書館の果たすべき役割についてお伺いしたところ, 「利用者が求める資料をできるだけ早く、確実に提供する ことに尽きるのでは」と明快に言い切る津田館長。そし

て「利用者のリクエストに応えるだけでなく、"図書館から市民へ"の働き掛 けを今以上にしていき、"地域の情報センター"として市民に親しまれる施設 にしていきたい。」と抱負を語る彼女の視線の先には、理想の図書館像がしっ かりと描かれているようです。フィンランドでの研修視察などを通じて培っ てきた豊富な知識や経験、そして誰にも負けない"図書館への情熱"が、強 い信念を支える大きな力となっていくことでしょう。

「今までの行政経験、図書館経験の集大成となる場を得ることができました。 山陽小野田市から、"ほんものの図書館とは何か?"を発信していきたいです ね。」曇らぬ笑顔の下に描かれた理想の図書館像。"中央図書館発~利用者行き" 便は、どうやらその本数を大幅に増やしていきそうです。

# 津田 惠子さん

昨年の3月に北九州市役所を退職後, 今年1月に本市が行った"図書館長の 民間公募"により、中央図書館長に採 用される。西日本図書館学会会員およ び図書館問題研究会会員の肩書きを持 つ。北九州市出身。

## 『図書館が大好きなんです』~中央図書館長就任~

### 津田図書館長就任によせて

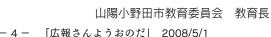


「図書館」は、「知の灯台」とも言われる、 知と文化の道しるべです。そのリーダーとし て、専門的な知識や考え方を持った人材の登 用が,本市の描く夢と重なり,今回の公募と なりました。津田館長を迎えての一か月、話

をすればするほど、素晴らしい方を館長としてお迎えすること ができたと感じています。

市民のみなさん、図書館がますます面白くなりそうですよ。

山陽小野田市教育委員会 教育長 江澤正思





▲ズラリと本が並ぶ中央図書館の開放書架。ページをめくる 一冊の本に,あなただけの素敵な世界が広がっています。